

第2章・・・・・・理念経営の基本的経営姿勢

＊＊180度経営姿勢を転換する時代が来ました＊＊

第5回 「風の時代と人時生産性UPの具体策」

1. アフターコロナは、確実に時代精神が変わります。

アフターコロナの時代は、「地の時代」から「風の時代」へダイナミックに時代精神は変わっていきます。

主な観点を述べますが、結論を先に述べますと

1) 生活者のマインドは変わる

＊「できるだけお金を使わない時間の過ごし方」がトレンドになる

＊「元の売上規模に戻ることは無い」社会構造も大きく変わる

ビジネスモデルの進化（変態脱皮）に挑戦しない者は、生き残れない

2) 個別に述べますと…◆は「風の時代」を述べてます。

（1）お金・物質のモノ中心から◆情報資源・経験知・文化」・人脈へ。

IT系のテクノロジーの進化は加速する。インターネットのインフラやAIの進化による各種ロボットで人間は属人的作業とクリエイターに分化して働き方が変わる。

（2）所有し資産化して財を持つから◆必要な時にシェア（共有）生活スタイルに。オフィス機能。自動車離れ。コンビニの複合機の機能アップ。コインランドリーの普及。空き家の増加。墓じまい等家族の破壊。

（3）土着的土地本位制・地主・継承から◆土地・建物は負の資産になりやすい。移動しやすい生活基盤・地区の棲み分けによる人口の移動・家族構成も含めての生活スタイルに合わせる。

アーティストのように個性と価値観を大事にして生活する。

（4）伝統・踏襲・守り・安定志向でゆでガエルの◆世代間の価値観のギャップが加速する。新しい環境に適應できるように、変態・進化する。

イノベーションの勇気をもって挑戦する。使わないモノは捨てる勇気。

(5) 財のストック・蓄積を持続の条件とした経済から◆循環型社会(水・食料・エネルギー資源・情報資源等)を強く意識してビジネスモデルへシフトされる。財は天からの預かりモノ。

(6) 性別・国籍・国境の固定観念・国家ファーストから◆地球ファーストへ。

人類皆兄弟の理念。他国を侵略しない。破壊しない。地球上の植物・動物等、生きとし生けるモノは、天の創造物であるとの認識もつ。

国際社会は、しばらくはパラレルワールドで推移するであろう。(欧米と中国の対立と日本の役割)

(7) 法律・慣習に縛られた硬直的な組織体・企業体・社会構造◆フリーランス・テレワーク・協働労働等新しい仕事のやり方が主流になる。

企業内では、プロジェクト型の機能組織に進化する。次世代の子供達の教育が社会的な一大事業になっていく。

(8) 縦社会(上司と部下・会社人間)・肩書尊重◆イコールパートナー・コミュニティ重視・仲間・友人等お金で買えないモノを大事にする。

情報の公開性が更に進み、「トカゲのシippo」は社会的制裁を受ける。

(9) 出世志向・名誉・社会的評価に執着◆あの世には持って帰れないモノは空しいと観じて自分らしく生きることが意義となる。

栄光を獲得するその過程で、人々を苦しめたり、害を与えては「世のため・人のため」の真逆となる・心魂の喜びこそが、天の蔵に富を積み、循環の源泉になる。

詳しくは、<https://rinenkeieishi.net/about/index.html#wind-era>
参照ください

◆◆理念経営における重要なキーワードですので解説しておきます。

2. 1人当たり営業利益(人時生産性)が悪くなった時の対策は・・・

1) 初めに、1人当たり営業利益(人時生産性)算式を説明します。

・人時生産性(にんじせいさんせい)＝営業利益÷従業員数

- ・売上総利益＝売上高－（仕入・製造原価・物流関係費⊕直接人件費）
- ・営業利益＝売上総利益－（販売費⊕管理費⊕販管人件費）

この算式から分かりますように、人時生産性は企業活動の総合的な要因が絡み

合った結果現れる血液の状態（資金の流れ・収益力）なのです。

・更にステークホルダーの人心の士気が影響を与えています。この改善は「組織戦略・組織診断」読んで経営計画の重要な観点と位置付けております。

2) この人時生産性が悪くなることは、企業活動のどこかに病巣があることを警告しているのです。企業経営は安定して発展・進化することは絶対に在りません。いつも激しく変化する外的な経営環境と内部要因によって常に変態脱皮（イノベーション）しないと滅びの道を転げ落ちることになるのです。

＊＊具体策について別な機会（セミナー等）で詳しく述べますので、ご期待ください。

- ◆「理念経営実戦のすすめ」第8章 利益計画の考え方（201頁）参照
- ◆特価（送料 100 円）で、本「理念経営実戦のすすめ」を販売いたします。

<https://rinenkeieishi.net/contact/form.php>

＊理念経営とは

<https://rinenkeieishi.net/about/index.html>

ご愛読ありがとうございます。

著者：(株)I&C・HosBiz センター

Captain 平本 靖夫

プロフィールは

<http://rinenkeieishi.net/corporate/index.html#hiramoto>

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

バックナンバーは下記の URL を確認してください。

【1】 #507号・・・21・07・16(金)・・・バックナンバー

https://rinenkeieishi.net/mail_magazine/hayabusa.php

~~~~~ 次回予告 ~~~~~  
皆様のコメントを励みにして、航海を持続いたしますので、重ねてご支援  
ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

◆次号 第509号は、

第1章「企業経営における会計の10原則」を3回シリーズでお届けして  
います。

第1回「経営のいろはと会計の役割」を解説いたします。

21・07・30(金) 著者：Captain 平本 靖夫 で、お届けします。

最後までお読みいただき感謝いたします。本当にありがとうございます。  
では、また次号で元気にお会いしましょう！

-----  
◆発信日・・・・・・毎週・金曜日

◆発行責任者・・・・・・Captain 平本 靖夫

◆編集長・・・・・・岩下一智・(株)I&C・HosBiz センター 執行役  
員

マーケット・クリエーター(MRC)・・・・CSA 開発推進責任者  
プロフィール

<https://rinenkeieishi.net/corporate/index.html#iwashita>

◆お問い合わせ・質問は

メールアドレス：kazu\_zohan@hosbiz.net

発行責任者：Captain 平本 靖夫、 編集長：岩下 一智 MRC

\* 配信解除URL：配信停止をご希望の際は、以下のアドレスをクリック  
してください。

\_\_stop\_\_